

『甲佐町の文化財(第三集)』の編さんに携わった
町文化財保護委員の(左から)赤星さん、石坂さん、成松さん、北里さん



甲佐町合併70周年記念 「甲佐町の文化財〔第三集〕」を発刊

平成2年に第一集、平成5年に第二集が編さんされてから約30年。本町合併70周年を記念して、『甲佐町の文化財〔第三集〕』を発刊しました。

本町の宝である歴史や文化を次世代へ継承するために編さんされた第三集の見どころや、本冊子の発刊にあたり町内文化財の調査や執筆など尽力された町文化財保護委員の皆さんの活動についてご紹介します。



▲本町の歴史や文化を集めた『甲佐町の文化財』

第二集から約30年ぶりに発刊

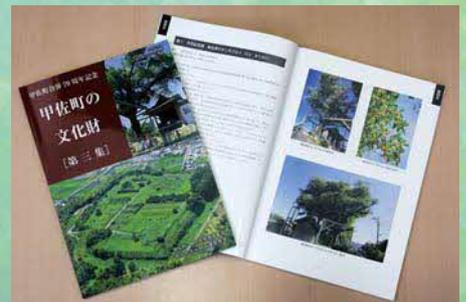
町と町教育委員会、町文化財保護委員会では、本町合併70周年を記念して『甲佐町の文化財〔第三集〕』を発刊しました。

本冊子は、平成2年に発刊された『甲佐町の文化財〔第一集〕』、平成5年に発刊された『甲佐町の文化財〔第二集〕』を基に、その後の調査で確認された町内所在の有形文化財および記念物（遺跡、名勝地、植物や鉱物など）について、町文化財保護委員会が令和4年度から文化財調査をすすめ、約30年ぶりに改訂したものです。

歴史や文化の継承のために

本町のシンボルとも言える天然記念物「麻生原のキンモクセイ」（昭和9年指定）、史跡「陣ノ内城跡」（令和3年指定）の2件の国指定文化財や16件の町指定文化財に加え、先人たちが守り伝え、地域の人々の文化活動により作り出されてきた近代以前の未指定文化財237件を掲載しています（未指定文化財については、すべてを掲載したものではありません）。

これまで培われてきた歴史や文化の継承とともに、文化財の保存や活用などを推進する機会となれば幸いです。



▲発刊された『甲佐町の文化財〔第三集〕』



▲町内の文化財を調査する文化財保護委員

本町の文化財を未来へつなぐ

文化財保護委員とは、文化財の保存、活用、調査研究などを行うために設置された委員会であり、本町では赤星眞照さん(有安区)、石坂妙さん(吉田区)、北里義友さん(津志田区)、成松和夫さん(浅井区)の4名の委員が町内文化財に対する保護・啓発に尽力されています。

本冊子の編さんにあたり、町文化財保護委員会では、令和4～6年度にかけて延べ30回以上の文化財調査と毎月開催される文化財保護委員会の中で、町内文化財の調査、執筆、推敲を重ねてきました。



甲佐町文化財保護委員長
あかほし まさてる
赤星 眞照さん

同委員長の赤星さんは、「令和4年度から3年間にわたって文化財や遺跡を現地ですべて、触れて、聞き取る」調査検証を行ってきました。そこで出会った先人が残してくれたこれらの文化財を守り後世に継承していくために、保護委員として活動を行ってきました。調査・検証に携わり、この地でのいのちをつないでできたことは委員としても喜びました。この冊子をたくさんの子どもたちにも見てもらって、甲佐町の豊かな文化や歴史に触れて学ぶきっかけにしてほしいです」と話しています。

本冊子は、町図書館や町内各行政区公民館等、その他県内図書館などで閲覧できます。

information

『甲佐町の文化財(第三集)』の配布希望事業所を募集します

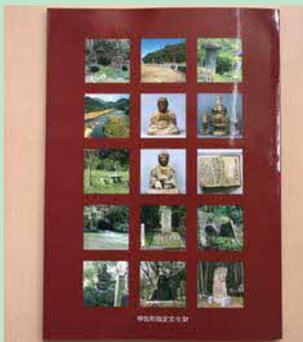
町教育委員会では、甲佐町合併70周年記念『甲佐町の文化財(第三集)』を町内外の多くの方々にご覧いただくことで、地域文化が再確認され、町内には多種多様な文化財が存在することをあらためて知っていただく機会となるよう、配布を希望される町内事業所を次のとおり募集します。

なお、発行部数には限りがありますので、募集状況によっては、すべての希望事業所に配布できないことがありますので、ご了承ください。

- 募集期限
令和7年8月末日(翌9月より順次配布)
- 配布冊数
原則1事業所あたり1冊
※閲覧予定場所が複数ある場合は、この限りではありません。
- 申し込みの際に注意いただきたいこと
 - ・町内に所在する事業所であること
 - ・待合室など多くの方が閲覧できる環境があること

▶お申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線327)

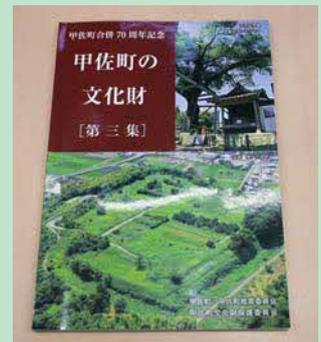
町公式ウェブサイト『『甲佐町の文化財(第三集)』の配布希望の町内事業所を募集します』ページQRコード▶



▲第三集裏表紙



▲『甲佐町の文化財(第三集)』表紙と陣ノ内城跡ページ



▲第三集表紙